

高等学校「子どもの『いのち』を守る強化月間」点検表 集計結果

1 取り組みが十分に行われている点検項目

- ・ 事故の際の緊急連絡網ができているか。
- ・ 避難訓練を定期的に行っているか。
- ・ 校舎等の安全点検を定期的に行っているか。
- ・ 不登校対策など、メンタルヘルスケアの委員会が開催されているか。
- ・ 生徒の個別相談に随時対応できる体制ができているか。
- ・ 警察・安全協会・駅などの関係機関との連携・連絡体制はできているか。

2 改善の必要性が高い点検項目

- ・ 事件、事故を想定した危機管理研修会を開催しているか。
- ・ 校外活動や遠征計画時の安全・保健衛生面の点検項目が整備・共有されているか。
- ・ PTA と連携した校外巡視や乗車指導を行っているか。
- ・ 通学路や生徒が立ち入り易い場所の安全は点検されているか。
- ・ 定時退校日が一斉に取れない場合、定時退校日を他の日に割り振っているか。

3 各校独自に設定した点検項目の例

- ・ 土曜講習の振替えを100%実施しているか。
- ・ 教職員のストレスマネジメントの研修を行うなど、スクールカウンセラーの配置を活用しているか。
- ・ 事件・事故等を想定した危機管理に関する研修会がもたれているか。
- ・ 危機管理に関する地域の情報などが職員に周知されているか。
- ・ 欠席や不調などについて担任が抱え込まず、生徒連絡票が早期に管理職まで提出されているか。
- ・ 全生徒に対して面談やカウンセリングをおこなっているか。
- ・ 臨床心理士によるカウンセリングや「かかわり」づくりのための講座を実施しているか。
- ・ 盗難防止のため部室の管理や持ち物の管理について指導を行っているか。
- ・ 不審者の侵入防止のため窓のストッパーや夜間照明などを設置しているか。
- ・ 不審者にねらわれた場合や事故の場合の対応について繰り返し指導しているか。
- ・ 不審者の侵入を防止する体制が整っているか。
- ・ 業者などの職員室での営業活動を原則として禁止しているか。
- ・ 日常的な巡回活動が行われているか。
- ・ いじめについて学校生活を点検し、保護者と情報交換を行っているか。
- ・ 職員に学校安全強化旬間の趣旨を徹底したか。

4 学校の特徴的な取組や成果、校内や地域の関係者等による話し合いの中で出された課題や改善点などの例

(1) 校内外の巡視、安全点検などの取組

- ・ 職員の輪番による毎日の校内巡視。
- ・ 管理職と関係課による校地内安全点検。
- ・ 全職員による登下校指導の通年実施。
- ・ 担任による生徒の通学路の安全点検。
- ・ 校長による毎日の登校時の正門前立哨指導。
- ・ 町内の夜間パトロール（21：00～23：00）年2回実施。

(2) 不審者対策などの取組

- ・ 教職員のネームプレートの着用。
- ・ 不審者対策として入校許可証着用の習慣化を図る取り組み。
- ・ 防犯カメラの設置。
- ・ 不審者侵入を想定した訓練を毎年実施。
- ・ 不審者が出現した場所を示した「安全マップ」を掲示し、注意を喚起。

(3) 交通安全指導に係る取組

- ・ 学校近くの交差点における横断歩道での自転車の乗り方。
- ・ 自転車交通安全教室、交通安全街頭指導。
- ・ 自動車、バイク通学許可者に対する交通安全実技講習会の実施。
- ・ 全校一斉交通安全LHR。
- ・ バイク通学者への安全講習会の実施。
- ・ 本校近隣道路朝夕交通自粛願（HP）。
- ・ 生徒の登下校時の安全確保と6月からの改正道路交通法のポイントについて資料づくりを行い、PTA支部でこのテーマでの情報交換。

(4) 地域、保護者との連携による取組

- ・ PTAと合同のマナーアップ運動。
- ・ PTAによる年4回の交通安全街頭指導の実施。
- ・ PTAによる早朝挨拶運動の実施。
- ・ 学校周辺地区の地区長との連絡、連携の強化。
- ・ 生徒指導課通信保護者配布。
- ・ PTA、町の防犯協会等と連携した取り組み。
- ・ 保護者・生徒・職員が、「マナーアップ」運動を一緒に実施。
- ・ 地区PTAが組織による親子ボランティア。
- ・ 近隣の保育園、デイサービスセンター等との交流活動。
- ・ 通学路、駅の飾花運動。産・官・学連携による駅を中心にした駅まち活性化。
- ・ ボランティア等で地域に生徒が出る機会を多くするなど地域との連携。
- ・ 学校で協力依頼しているサポート委員・サポート事業所との連携強化。

- ・ 防災無線による町内の児童生徒への呼びかけと地域住民への見守り協力要請呼びかけ。
- (5) 生徒会活動等による取組**
- ・ 学級委員会による「盗難防止委員会」、生活委員会による「いじめ対策委員会」。
 - ・ 美術・書道などの文化部によるポスター制作での呼び掛けや生け花で潤いのある環境づくり。
 - ・ 生徒会を中心に駅前の遊休施設内に学習スペースを設置する請願運動。
- (6) 精神保健に係わる取組**
- ・ 新入生の心のケアを早期に行うために、カウンセラーによる個人相談。
 - ・ 保健講話においてストレスとの上手な付き合い方を指導。
 - ・ スクールカウンセラーによるコミュニケーション能力育成のための指導の実施。
- (7) 子どもの『いのち』を守る強化月間を中核とした取組**
- ・ 「子どもの『いのち』を守る強化月間」の趣旨やスローガンの保護者への配布、呼びかけ。
 - ・ 家庭と連携して「子どもの『いのち』を守る強化月間」スローガンを作成。
- (8) その他の取組**
- ・ 学校敷地以外の施設での部活動に係る交通安全指導、不審者対策、緊急連絡体制の整備。
 - ・ 携帯電話・インターネットの正しい利用について研修の実施。
 - ・ 教員対象の救命救急講習会の実施。
 - ・ 年間8回のスリー（マナー、モラル、センス）アップ活動の実施。
 - ・ 制服着こなしセミナー。
 - ・ 四川大地震義援金募金。
 - ・ 航海実習における緊急連絡体制の周知。
 - ・ 学年担任団及び部顧問同士が協力し、生徒の部活動後の切り換えを指導。
- (9) 課題や改善を要する点**
- ・ 近隣住民、子どもの校地内への立ち入りと安全管理、不審者対策に係る問題。
 - ・ 生徒の自転車通学時に道路の横断方法や歩道の通行方法などが不明な箇所について。
 - ・ 保護者等による生徒の送迎時のルールやマナーの不徹底。

高等学校「『いのち』を守る強化月間」学校作成スローガン

各学校の実情に応じて、「いのち」を守る月間の運動を盛上げるよう、各学校が積極的にスローガン作成とその活用に取り組みました。下記の各学校独自のスローガンを参考として、今後、あらゆる教育活動の機会に、「子どもの『いのち』を守る」運動の機運を高めてください。(学校単位で「*」印を付してあります。)

- * **子どもの心の変化やシグナルに、あたたかい眼差しと援助の手を差し伸べよう。**
- * **学校と情報を密にして、学校内外の安全安心を確認しよう。**
- * **生徒一人ひとりの心のシグナルに耳を澄ませ、目を凝らし、温かい手を差し伸べよう。**
- * **①教職員用： 見つめよう、話そう、届けよう願いを**
- * **②生徒用： 心にゆとりを、身の安全を、ひとに思いやりを**
- * **③家庭用： 子の笑顔、親の笑顔が集う食卓**
- * **「こころ」「まなび」「ちから」をキーワードにして、心豊かで健やかな人間性と自尊感情を高めよう！**
- * **入校許可証 つけて守ろう いのちと安全**
- * **「One for all, All for one」 ～一人はみんなの為に、みんなは一人の為に～**
- * **「子どもの目線で会話し、心の叫びと行動をあたたかく見守り理解しよう」「万が一の事故発生時には、学校の対応に理解と協力をしよう」**
- * **教育諸活動における不安・危険を総点検し、早期改善に努めよう！**
- * **「羽ばたけ未来へ ～夢への挑戦～」**
「学校を地域に開き、地域の方々からと連携して、生徒の社会力や人間力を高めよう
- * **「自転車も乗り方一つで武器になる」**
「投げ出すな自分の命と夢までも」
「飛び出すな誰が育てたその命」
- * **マナーアップで事故防止！やるぞ！ちからの限り！**
- * **学校 「学校を地域に開き、地域と連携し、子どもたちの社会力や人間力を高めよう」**
家庭 「学校に興味と関心を示し、学校の教育活動を応援しよう」
- * **「学校・家庭・地域で子どもの「いのち」を見守り、みんなで点検し「いのち」を守るコミュニケーションを拡大しよう！」**
- * **「絆」**
- * **生かされてあることに感謝し、互いの「いのち」の重さを認識し、社会に貢献できる人間となろう。**
- * **お互いのフォローで、安心・安全な学校を！**
- * **1. 温かい家族関係を築いて、子どものエネルギーを高めよう。**
2. 子どもの健康に気を配り、子どもの心の変化に目を向けよう。

3. 学校や職場での悩みや心配事に耳を傾けよう。
 4. 交通事故の怖さや、若年飲酒の危険について教えよう。
 5. 学校行事に参加して、子どもの様子を見守ろう。
 6. 家庭と地域と家庭が力を合わせて、みんなで子どもを育てよう。
- * 生徒同士の交友関係に目を注ぎ、明るく温かい心の交流を見守ろう。
地域に飛び出す社会参加で、地域の一員としての自覚を持とう。
生徒の悩みに心と目を開き、生徒一人ひとりに温かいまなざしと手を差し伸べられるよう校内相談体制を充実しよう。
定期的に学校内外の隅々まで安心
安全を確認し、子どもの安全を最優先した校内危機管理意識と体制を構築しよう
 - * ①保護者としての強い自覚で、子どもを守り育てよう。
②校外の不審者情報を学校と共有しよう。
 - * 教職員スローガン「〇〇〇生のたくましく生きる力を高めよう ～地域とともに、社会力や人間力を育てる～」
生徒会スローガン「心とことばの通い合う 仲間づくり～みんながみんなのために～」
 - * みんなで守ろう ひとつのいのちは 大切な宝物
 - * 自分自身を大切に
 - * 一人一人が品格のある〇〇〇生です。
 - * 「安全は 自分の心 意識から」
 - * 校内外の安全・安心を再確認しよう。
 - * 地域と連携し、子どもたちの社会力・人間力を高めよう
 - * 校内：生徒の悩みを受け止める相談活動を展開しよう。
保護者：①子どもの疲れを癒す、家庭内でのキャッチボールをしよう。
②家族そろって楽しい食事と団らんを持とう。
③学校諸行事に積極的に参加し、子どもの様子を見守ろう。
④校外学区内での不審者情報を学校と共有しよう。
⑤学区エリアの危険箇所の情報を学校に提供しよう。
 - * 「登下校時の安全確保といじめがない安全・安心な学校づくり」を目指して、情報を密にする。
 - * 生徒一人ひとりの良いところを認めて励ます親、教師となるよう努めよう。生徒一人ひとりの悩みを知って、ともに悩む親、教師となるよう努めよう。
 - * 登下校時の安全を確認しよう。
 - * 「自他のいのちを守る」ことを基本においた安全行動を身に付けよう。
 - * 子どものエネルギーや生きる力を高める教育活動を展開しよう！
 - * 地域と連携して実現しよう！「明るい学校」・「安全な社会」
同僚は仲間。一人で悩まず、何でも相談する勇気が大事！
油断大敵！「危機」は「日常」に潜んでいる

- * 「子ども達のエネルギーを引き出し生きる力へ！」～心の訴えと行動への呼応とあたたかい救いの手を～
- * 生徒一人一人の心を大切に、子供たちの社会力や人間力を高めよう
- * 生徒が自信と夢のもてる教育活動を展開しよう
- * 子どもの「いのち」を守るために、家庭・地域・学校でのコミュニケーションの輪（和）をひろげよう。明るい挨拶は、子どもの「いのち」を守る第一歩
- * 子どものエネルギーや生きる力を高める教育活動を展開しよう。
学校を地域に開き、地域と連携し、子どもたちの社会力や人間力を高めよう。
教職員のやる気・活力・倫理観を醸成し、互いにフォローアップ力を高めよう。
- * 「小さなことでも気軽に相談・情報提供」「小さな変化に気づく目と心」
- * 職員、保護者みんなで守ろう、健やかな生徒のいのちと学びを！（統一スローガン）
となりの人の心の声が聞こえますか？～友だち・仲間・家族・先生～ Share your pain with us（生徒向けスローガン）
- * 平穏な時こそ危機管理マインドを持って、日常に潜む危機、身近にある危機について再点検しよう。
- * 生徒一人ひとりの心の叫びと行動に温かい眼差しと手を差し伸べよう。
生徒同士の交友関係に目を注ぎ、明るく温かい心の交流を見守ろう。
学校を地域に開き、地域と連携し生徒達の社会力や人間力を高めよう。
- * 6月は相談月間（生徒と教師、保護者と教師、家族内会話）
- * 学校：生徒の変化を敏感にキャッチし、温かい眼差しで生徒の支援に努めよう。
家庭：子どもとのあいさつや会話を通して、心の声を聴き子ども理解に努めよう。
- * 明るい学校生活、家庭生活を送ろう。
- * 「子どものエネルギーや生きる力を高める教育活動を展開しよう」
- * 学校「心ひとつに笑顔で挨拶を」
家庭「いつもやさしい眼差しを注ぎ、1日1回親子で会話しよう。」
- * 【職員】生徒の安全安心が最優先！！ 教育活動における不安・恐れ・危険を総点検し、早期改善に努めよう！！
【生徒】かけがえのない「いのち」とともに大事にし、安全安心の学校にしよう
- * [家庭配布用]
子ども理解
子どもの目線で会話し、心の叫びと行動をあたたかく見守り理解しよう
子ども支援
子どもの心の変化やシグナルに、あたたかい眼差しと援助の手を差し伸べよう
いじめ把握と防止・健全な交友関係構築
子どもの交友関係に気配り、子ども同士の心の交流を見守ろう
社会力・人間力の育成
家族で地域行事に参加しよう

社会性の涵養

子どもと共に社会参加し、地域の一員としての自覚を育もう

家庭団らん、毎月19日：「家族団らんの日」

家族そろって楽しい食事と団らんを持ちましょう

子どもの心の充電

子どものエネルギーを高める温かい家族関係を築こう

子どもの心の癒し

子どもの疲れを癒す、家庭内での心のキャッチボールをしよう

保護者教育力の高揚

保護者としての強い自覚で、子どもを守り育てよう

学校理解・支援

学校の教育活動を応援しよう

親の目で危機管理の確認

子どもの安全安心に配慮した校内体制ができているか確認しよう

事後対応理解と協力

万が一の事故発生時には、学校の対応に理解と協力をしよう

安全安心確認

先生方と情報を密にして、学校内外の安全安心を確認しよう

学校生活の理解

学校諸行事に積極的に参加し、子どもの様子を見守ろう

先生との連携協力

先生方へ気軽に相談をし、情報を提供しよう

不審者情報提供

不審者情報を学校と共有しよう

危険箇所情報提供

危険箇所の情報を学校に提供しよう

連携・協力

警察など関係機関と連携協力をしよう

〔 学校用 〕

生徒理解と状況把握

「生徒一人ひとりの心の叫びと行動に温かい眼差しと手を差し伸べよう」

いじめ把握と防止・健全な交友関係構築

「生徒同士の交友関係に目を注ぎ、明るく温かい心の交流を見守ろう」

自己有用感と生命力高揚

「子どものエネルギーや生きる力を高める教育活動を展開しよう」

家庭教育力の高揚

『保護者の自覚を促し、明るく会話のある家庭の構築を働きかけよう』

社会力・人間力の育成

『学校を地域に開き、地域と連携し、子どもたちの社会力や人間力を高めよう』

社会性の涵養

『地域に飛び出す社会参加で、地域の一員としての自覚を持とう』

PDCA のサイクル

『校内組織マネジメントを確認し、機能化と活性化を目指そう』

危機管理

『子どもの安全安心を最優先にした校内危機管理意識と体制を構築しよう』

初動体制

『事故発生時の初動対応と緊急マニュアルを機能させよう』

学校施設・設備・用具の点検

『定期的に学校内外の隅々まで安心・安全を確認しよう』

教育活動総点検

『教育諸活動における不安・恐れ・危険を総点検し、早期改善に努めよう』

相談・サポート体制

『生徒の悩みに心と目を開き、校内相談体制を充実しよう』

指導力と資質向上

『教職員のやる気・活力・倫理観を醸成し、互いにフォローアップ力を高めよう』

不審者対応

『地域の力を借りて、校区内外での不審者情報収集に努めよう』

危険箇所の周知

『危険箇所の把握とその周知を徹底しよう』

連携・協力

『警察など関係機関との連携協力を強化しよう』

* [生徒用]

- 1 一人ひとり生き生きと活動できる学校にしよう
- 2 自己実現のため、学校生活で夢中になれるものをみつけよう
- 3 「いじめ」がない、一人ひとりを大切にする学校にしよう
- 4 一人で悩まず、周りの人に相談できる学校にしよう
- 5 自分の「いのち」他人の「いのち」を大切にする学校にしよう

[PTA 用]

- 1 子どもの目線で会話し、心の叫びと行動をあたたかく見守り理解しよう

- 2 家族そろって楽しい食事と団らんを持ちましょう**
- 3 子どもの安全安心に配慮した目配りをしよう**
- 4 先生方と情報を密にして、学校内外の安全安心を確認しよう**
- 5 あいさつで広める人との連携、地域の絆**

[教職員用]

- 1 様々な機会を活用して生徒とのコミュニケーションを図り、生徒の成長を見守ろう**
- 2 教職員のやる気・活力・倫理観を醸成し、互いのフォローアップを高めよう**
- 3 学校・家庭・地域との連携を密にしよう**